

おかえり、ただいま、映画館

長浜から映画館が消えてどれだけの月日が経ったのでしょうか。
わたしたちの日常から映画が遠くなりつつあります。それでも、長浜にルーツを持ち、映画を愛するフィルムメイカーたちがいます。
かつて映画館だった「日吉座（ひよしざ）」が1日限り復活します。長浜とその周辺にまつわる映画と長浜製フィルムメイカーたちが集います。
「おかえり、ただいま、映画館」と祝福しましょう。

そして、1日限りが、いつか、日常になるように。

Filmmakers made in Nagahama

映画館のない町で映画祭を

2026年1月17日（土）日吉座

滋賀県長浜市木之本町木之本 1240

10:00 開館のご挨拶

湖の女たち 18歳未満鑑賞不可

13:15 Flow

15:00 長浜製フィルムメイカーたち

ゲスト：上田慎一郎監督、堤真矢監督 等（上映後）

16:45 アングリースクワッド
公務員と7人の詐欺師

ゲスト：上田慎一郎監督（上映後）

19:30 閉館



『もうひとつのことば』（監督：堤真矢）

長浜製フィルムメイカーたち

上田慎一郎監督、長浜市が舞台で話題の『ジモトループ』の堤真矢監督をお迎えして、短編映画の上映とトークを開催。わたしたちはなぜ映画をつくるのか？ 長浜にルーツを持つことに関連はあるのか？
長浜製フィルムメイカーたちが集い、語り合う特別企画です。上映予定作品：『みらいの婚活』（監督：上田慎一郎）、『もうひとつのことば』（監督：堤真矢）等



©2024 映画「湖の女たち」製作委員会

湖の女たち 18歳未満鑑賞不可

2024年/141分/日本

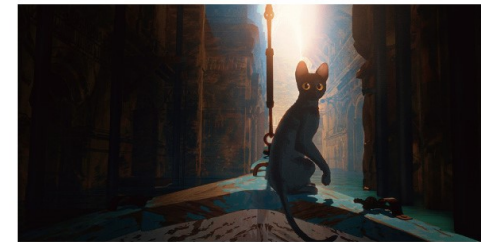
監督・脚本：大森立嗣 原作：吉田修一「湖の女たち」（新潮文庫刊）
撮影：辻智彦 音楽：世武裕子
出演：富士蒼汰、松本まりか、福地桃子、三田佳子、浅野忠信、財前直見、近藤芳正、平田満、根岸季衣、菅原大吉、土屋希乃

湖畔の介護施設で起きた老人の不審死。事件の捜査にあたった西湖署の若手刑事・濱中とベテランの伊佐美は、施設の中から容疑者を挙げ、執拗な取り調べを行なっていく。その際で、濱中に取り調べで出会った介護士・佳代への歪んだ支配欲を抱き、二人は倒錯した関係へと堕ちていく。一方、事件を追う週刊誌記者・池田は、この殺人事件と署が隠蔽してきたある業害事件に関係があることを突き止めていくが、捜査の先に浮かび上がったのは過去の恐るべき真実……。欲望と罪、そして沈黙が、湖の底に静かに沈んでいく。

多様なジャンルの話題作、問題作を世に送り出してきた大森立嗣監督が、大ヒット映画『国宝』の原作者・吉田修一の同名小説を映画化。際どい描写や倫理的葛藤を含みながらも、俳優陣の緊張感あふれる演技と抑制の効いた演出により、文芸映画としての品格を披露。人間の内面に潜む闇や、社会の構造的な歪みを映し出す鏡として、観る者に深い余韻を残します。滋賀県が舞台で長浜ロケもあり、高島市針江地区の「かばた」がとりわけ印象的。



©2024 アングリースクワッド制作委員会



© Dream Well Studio, Sacrebleu Productions & Take Five.

Flow

2024年/85分/ラトビア、フランス、ベルギー

監督：ギンツ・ジルバロディス

世界が静かに崩壊した後、孤独になった猫が流れに導かれるように旅を始める。漂流するボートに乗り合わせた動物たちと、予期せぬ危機に襲われることに。しかし彼らの中で少しずつ友情が芽生えはじめ、たくましくなっていく。荒廃した都市、沈みゆく大地、かすかな記憶の残響——言葉なき世界で、命の鼓動だけが確かに響く。猫が旅の中で出会うものは、自然、記憶、そして存在の根源へとつながっていく……。

ラトビア出身のギンツ・ジルバロディス監督による、世界の映画祭で60以上の賞を受賞した珠玉の長編アニメーション映画。セリフを一切排し、映像と音響のみで物語を紡ぐ、静謐（せいひつ）でありながら力強い、唯一無二の映像詩。監督は「皆さんが動物たちに共感し、彼らの中に自分とのつながりを見つけてくれることを期待しています」と語ります。
山々と森林と湖を有する長浜の子どもたちに猫や動物たちと出会って欲しい！

アングリースクワッド 公務員と7人の詐欺師

2024年/120分/日本

監督：上田慎一郎 脚本：上田慎一郎、岩下悠子 撮影：山本周平 監督補：ふくだみゆき 音楽：鈴木伸宏、伊藤翔磨
出演：内野聖陽、岡田将生、川栄李奈、森川葵、後藤剛範、上川周平、鈴木聖奈、真矢ミキ、皆川猿時、神野三鈴、吹越満、小澤征悦

税務署に務めるマジメな公務員・熊沢二郎は、天才詐欺師・氷室マコトが企てた巧妙な詐欺に引っかかり、大金をだまし取られてしまう。親友の刑事の助けで氷室を突き止めた熊沢だったが、まさかの氷室が接触してくる。「詐欺の被害届を取り下げてください」氷室は、熊沢が追う脱税王から10億円を奪還する詐欺を持ちかける。熊沢は自らが抱える“ある復讐”のためにも氷室と手を組むことを決意。2人はクセ者ぞろいのアウトローたちを集めた詐欺師集団「アングリースクワッド」を結成し、壮大な税金徴収ミッションに挑む。

『カメラを止めるな!』がインディペンデント映画でありながら大ヒットし、社会現象を巻き起こした、長浜市木之本出身の上田慎一郎監督の最新作。名優・内野聖陽さん、演技派・岡田将生さん、その他多くの著名な俳優陣を迎え、商業映画の世界でも一貫して個性豊かなキャラクターが鮮やかに活写されています。正に長浜製フィルムメイカーのトップランナー！上田慎一郎監督の凱旋です！お見逃しなく！！